

校長室の窓から

平成30年7月19日(木)

培根の教育 No.7

尾瀬学校特集(その2)

◎空気が、碓東小にいる時より、吸いやすく、気持ち良かったです。白くてスズランに少し似ている花や、葉の上にトゲのある植物などがたくさんありました。中でもミズバショウの実がありました。私はこわくて、最初はさわるのがいやだったのですが、さわってみるとぜんぜんだいじょうぶでした。なぜこわかったかという、その実のようなものがとげとげしていたので、ささらないか心配だったからです。でも、ぜんぜん刺さらなかったです。湿原では、たくさんの花が咲いていました。まず、今頃のニッコウキスゲは、かすかに甘いにおいがしました。ノアザミの花の下部分はベトベトしていました。碓東流水池では見られなかったヒツジグサや、最初に「オゼ」のついでに『オゼコウホネ』、食虫植物の『ナガバノモウセンゴケ』がありました。「オコジョ」や「ヤマネ」は、残念ながら見られませんでした。川でイワナを見たり、湿原でハッチョウトンボやイモリを見られたことはうれしかったです。とにかく、疲れたけど楽しい尾瀬学校かったです。



↑ミズバショウの実

◎イモリやハッチョウトンボやいろいろな生き物を見ました。イモリは、お腹がとても赤い色でした。ハッチョウトンボはとても小さくて、とても見つけづらかったです。お花は、ノアザミ、ヒツジグサ、ニッコウキスゲ、サワランなどの花を見ました。ノアザミは、お花の下部分がベトベトしていました。ヒツジグサは、見てるだけでとてもかわいい花でした。ニッコウキスゲは、大きくてとても目立つ花でした。サワランは、なぜサワランというかは、かわいい花だからさわらないでねという意味だそうです。



↑ヒツジグサ

◎尾瀬は自然ですずしいし、お花もいっぱい広がっていてきれいでした。実際に植物に触れあうことができました。尾瀬の水は、すっごく冷たかったです。お花は、花火みたいなものもありました。星みたいなものもありました。あと、指紋が消せるお花もあって、さわったらいっしゅんだけ指紋が消えました。



↑花火みたいなキンコウカ

◎植物では、ピンク色の花サワランやオニユリに似ているニッコウキスゲやブナという木やミズバショウの葉と実が見られました。あとはべたべたが特徴のノアザミの花やミツガシワやオゼコウホネやキンコウカ、ヒナシャクナゲ、ナガバノモウセンゴケなどいろいろな花が見られてよかったです。生き物ではハッチョウトンボという2cmの雄のトンボしか見られませんでした。野生の自然の大切さや尾瀬で学んだことがいっぱいありました。疲れたけれどいろいろ学べてよかったです。尾瀬に行ってもよかったと思う気持ちになれました。今度は、家族で行ってみたいという気持ちになったので、夏休みにいけるといいなと思います。また行ってみたいです。



ナガバノモウセンゴケ



サワラン



ノアザミ

【裏面あり】

尾瀬学校特集(その3)

◎ナメクジが赤ちゃんを産んでいた。ニッコウキスゲがいっぱいさいていた。イワナを4匹見つけた。黒くて大きかったです。コバイケイソウをさわったらさらさらしていました。熊やシカがいろいろなものをいっぱい食べてあつたあとがありました。ニッコウキスゲが一面に黄色いじゅうたんをしきつめたようにさき、池塘(ちとう)にはオゼコウホネやヒツジグサの花が浮かぶことがわかった。浮島には池塘に完全に浮かんでいるものもあり、風の強い日には池塘の水面をゆっくりと動く姿が見られることを初めて知った。私も見たかったです。環境に優しい作り方が工夫されていて、2本の木道にして、たくさんの人が使えるようになっています。木道が歩きやすかったです。



↑沼のような池塘に浮かぶ浮島

◎初めて行った尾瀬で大変でした。最初はでこぼこ道があって大変だなーとおもいました。木道に入ると、つるつるしてしまいました。私は途中で滑ってしまいました。途中でゴミを持っている人に会ったので「今日は何キロのゴミですか?」と聞いたら、「今日は98キロです。」と言ったのでびっくりしました。3kmの道を歩いて、まだそんなに疲れませんでした。尾瀬ヶ原について、お弁当を食べました。お母さんが作ってくれたお弁当はおいしかったです。お弁当の後にまた歩くと、トンボやイモリを見つけました。

帰りは、上り坂できつかったけど、休憩もはさんだのでだいじょうぶでした。私は、尾瀬の一日ってすごく早いと思いました。

私は、また家族全員で行きたいと思いました。家族にも尾瀬に行つて欲しいです。私は尾瀬に住みたいと思いました。いろいろ動物は見られなかったけど、鹿の足あとは見られました。また行けば、いろいろな動物に会えると思いました。尾瀬はいいところなので、またもう一回行きたいです。(ガイドの)小林さんの説明もわかりやすかったです。なんで尾瀬はこんなに涼しいのかが不思議です。尾瀬から安中に戻ると、すごく暑かったのでびっくりしました。また夏になれば尾瀬は涼しいので、今度は夏に行きたいです。おもしろくて最高の思い出になりました。



↑ガイドの小林さんと子供たち



↑お世話になった8人の尾瀬ガイドさん

★子供たちの感想からは、普段なかなかできない体験をしたことや多くの学びがあったことがよくわかります。五感を総動員して、身体全体で尾瀬を味わってきたのだと思います。

この尾瀬学校が単なる遠足や山歩きにならなかったのは、子供たちの質問に丁寧にわかりやすく答えてくださった尾瀬のガイドさんのお蔭です。ガイドさんがいなければ、花の名前も尾瀬の成り立ちも、その貴重さも実感できなかったかもしれません。本当にお世話になりました。

どのご家庭も、せっかく群馬にいるのですから、ご家族でお出かけしてみたいと思います。